



公益社団法人京都モデルフォレスト協会 平成 27 年度事業報告

平成 27 年度は以下の 3 点を重点的に実施しました。

- 1 平成 28 年秋に京都府で開催される第 40 回全国育樹祭の開催機運を盛り上げるため関連行事を開催するとともに、緑の少年団の活動促進や次世代の森林環境教育の支援などを実施
- 2 京都モデルフォレスト運動の 10 周年を迎える平成 28 年度に向け、モデルフォレスト運動の取り組みを一層推進するとともに、協会設立 10 周年記念行事についての検討を実施
- 3 関係団体や協会会員の協力を得て、緑の募金や森林づくりへの寄付金等を拡大する取り組みを強化し、森林整備、地域緑化、環境教育、森林ボランティア活動等への支援を充実

1. 全国育樹祭に向けた活動の展開

第 3 回「京都緑のこどもサミット」の開催（7 月 31 日～8 月 1 日）

子どもたちの森林への理解や自然を大切にする心を育むため、京都府と共に「京都緑のこどもサミット」を宇治市内において開催し、府内の緑の少年団をはじめとする子どもたち約 150 人が参加しました。緑活動発表会やネイチャーゲーム、森林観察やクイズラリーのほか、樹木に肥料を与える育樹活動などに取り組んでいただきました。また、当協会が「モデルフォレスト・パートナーズ協定」を締結した北海道下川町の子どもたちを招待しました。



プレイベント・関連行事の開催

第 40 回全国育樹祭 1 年前キックオフイベントー育樹祭 in 宇治・2015「国民参加の森林づくり」シンポジウム（9 月 27 日）

「育樹祭 in 宇治」として午前中京都府立山城運動公園ふれあいの森において約 50 人の参加により育樹活動（施肥）及びクイズラリーを実施。午後には宇治市文化センターにおいて 2015「国民参加の森林づくり」シンポジウムが行われました。



第 40 回全国育樹祭 1 年前キックオフイベント～「森の京都」エクスカーション（10 月 4 日、10 月 18 日）

丹波広域基幹林道を巡るエクスカーションを実施、10 月 4 日の京丹波町コースでは、森林散策やクイズラリーのほか、アグリパークわちにて地元の方との餅つき体験などによる交流を、10 月 18 日の京都市コースでは、伏条台スギなどの見学、京北銘木生産協同組合での北山丸太の木工や皮剥体験を行いました。





Club J-WEST の森 森づくりイベント(6月6日、10月17日)

南丹市スチールの森京都（府民の森ひよし）において、森林づくり活動（広葉樹間伐体験）、ツリークライミング、自然観察、木工体験、薪割体験などを実施。累計約 350 人が来場しました。森林づくり活動では、森林の持つ公益的機能についてのお話のあと、植樹した苗木への施肥や広葉樹の抜き切りなどの森林の手入れを経験いただきました。



次世代に豊かな森と緑を伝える森林環境教育の実施・支援

子ども夏休み森林教室@大学の森の開催（8月9日）

小学3年生までの子どもたち、保護者を含む13人が参加し、京都森林インストラクター会の指導による夏の森の観察や、京都府立大学森林ボランティアサークル「森なかま」の学生の皆さんによる「間伐」の説明と実演。続いて、子どもたち自らも作業し、木を元気にするためのお手伝いをしました。



勝山中学校「森の人材バンク」出前授業 （10月23日、11月6日）

京都府教育委員会が推進する「子どもと社会を結ぶまなびづくり協議会『結ネットKYOTO』」の取り組みの一つとして、協会の運営する「森の人材バンク」を活用し、向日市立勝山中学校1年生を対象とした出前授業を行いました。京都森林インストラクター会による森についての講義のほか、地元で竹林の整備をする団体の活動地でのインタビューなどを行いました。



京都の森を守り育てる体験講座「大学の森で学ぶー森林環境教育と間伐体験」の開催（12月6日）

小学校や保育園・幼稚園の先生、緑の少年団指導者、大学生や森林づくりボランティア団体の方など16人が参加。京都教育大学の山下宏文教授による講義に続き、京都府立大学附属大枝演習林で京都森林インストラクター会による森林観察、京都府立大学森林ボランティアサークル「森なかま」の協力により参加者の皆さんに間伐作業を体験していただきました。



幼稚園での環境教育の支援を実施（1月16日、3月3・4日）

幼稚園で子どもたちがシイタケの成長を観察するお手伝いのため、幼稚園教諭の皆さんを対象に、出前授業としてシイタケ原木の伐出体験をお手伝いしたほか、原木を持ち帰り園で子どもたちに菌打ち体験をしていただきました。





2. 協会設立 10 周年に向けた府民参加型のモデルフォレスト運動の展開

10 周年記念事業検討委員会の開催

8 月 5 日、9 月 28 日、1 月 27 日の計 3 回、設立 10 周年事業検討委員会を開催。企業、会員、活動団体、林業関係者等からなる委員により、設立 10 周年記念事業について検討を行うとともに、中期経営計画案を策定しました。



林野庁森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用した住民による森づくりの支援

平成 25 年度より、地域住民等の力で里山林の保全や森林資源利用、森林環境学習を実施し、水源の涵養、山地災害の防止等、森林の有する多面的機能の発揮を図ろうとする林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策」交付金制度の京都府の取扱団体（地域協議会）となり、府内各地の住民団体や森林ボランティア団体等に対し交付金を交付し、活動を支援する事業を開始。

当制度については、平成 28 年度まで実施が予定されています。平成 27 年度は、新たに設立された住民団体や森林ボランティア団体等を含めて 80 団体が里山林保全、竹林整備、森林資源利用、森林環境学習等の各タイプの活動に取り組み、この活動により約 286ha の地域の里山林保全・竹林整備・森林資源利用活動が行われ、多くの府民が森林の自然観察等の環境学習や林業体験に参加しました。



研修・交流会の開催

森林整備活動に必要となる安全面の研修とあわせ、実際に団体が活動されている現地を見学しての研修・交流会を、6 月 21 日（京丹後市）、28 日（亀岡市）で開催。併せて事業実施にあたっての留意点について説明し、参加者間での意見交換等、活動団体の支援を行いました。



府内一斉森づくり期間 「モデルフォレスト DAY」の展開

モデルフォレスト運動をさらに盛り上げるため、府内一斉森づくり期間「モデルフォレスト DAY」（10 月～11 月）における森林づくり活動を府内各地に呼びかけ、期間中、府全域で約 4,000 人の参加がありました。





森林ボランティア活動の推進

モデルフォレストリーダーの認定

2月5日の森林・林業・木材産業京都会議「モデルフォレスト運動推進大会」において、森林保全活動を支援リーダーとなる人材を育成するために府立林業大学校で実施された「森林保全研修」を受講し修了された13人に、モデルフォレストリーダーの認定書を授与しました。



ボランティアによる伝統文化の森林づくり活動の実施（12月13日）

京都市右京区梅ヶ畑において、協会会員や一般参加者、鞍馬火祭保存会の皆様ほか計24人の参加のもと、「京都の森を守り育てる体験講座「伝統文化を支える森づくり体験」」を実施しました。鞍馬火祭り保存会の三宅会長から鞍馬の火祭の松明の材料となるコバノミツバツツジ等の調達が困難になっている現状などについてお話しいただいた後、京都大学農学部の高柳先生の講義と防鹿柵の設置を体験していただきました。



大学等との連携

竹の環プロジェクト（5月9日）

平成19年度からの取り組みで、毎年京大桂キャンパス内において竹林の整備やタケノコ掘り等の竹林保全ボランティア活動「竹の環プロジェクト」を開催。主催の京都大学・住友生命保険相互会社・京都府・当協会のメンバーとともに一般参加者を含めた総数144人の皆さんにご参加いただきました。



「京の七夕」放置竹林整備活動（6月27日）

放置竹林問題への対策及び普及啓発の一環として、企業や学生のボランティア、京の七夕実行委員会事務局のメンバーら約40人が、京都大学桂キャンパス内の放置竹林で約60本の竹の伐採と搬出を行いました。伐採された竹は、8月に開催されたライトアップイベント「京の七夕」堀川会場の巨大アーチ「光の天の川」等に利用されました。





3. 国内外の多様なパートナーシップによるモデルフォレスト運動の推進

第4回「森林・林業・木材産業京都会議」モデルフォレスト運動推進大会の開催

平成28年2月5日、森林、林業、木材、住宅建築、森林保全に取り組む企業や団体などの関係者が一堂に会する第4回「森林・林業・木材産業京都会議」を、ルビノ京都堀川（京都市上京区）において開催。府内



全域から約400人にご参加いただきました。全体会議として、京都モデルフォレスト運動表彰の知事賞の授与のほか、「森と日本人の関わり」と題した貴船神社高井宮司の講演が行われました。



午後からは分科会にわかれ、「モデルフォレスト運動推進大会」を開催。モデルフォレスト運動の発展に寄与された企業・団体の皆様への表彰状や感謝状の贈呈のほか、「森林資源の活用を目指して」をテーマに講演やパネルディスカッションを行いました。また、「林業・木材産業活性化大会」においても、企業参加の森林づくりによる森林整備が表彰を受けたほか、取り組み報告が行われました。

終了後の全体会議では、副理事長の田中和博京都府立大学副学長がコーディネーターとなり各分科会での議論について報告されたほか、佐藤常務理事が総合討論に登壇、今後のモデルフォレスト運動の役割や展望などについて議論しました。

国際的な取り組みの推進

第40回全国育樹祭1年前キックオフイベントー 2015「国民参加の森林づくり」シンポジウム（9月27日）

9月27日、宇治市文化センターにおいて作家の池澤夏樹氏やカナダ・ケベック州木材製品輸出振興会理事長でF A O森林・林業委員会カナダ代表のシルヴァン・ラベ氏による講演に続き、「生物多様性が主流の明日へー産・学・民・公は連携できるか」と題したパネルディスカッションを開催。約300人が参加しました。



韓国安山市視察団の受入れ（11月4日）

11月4日、韓国安山市役所職員の視察団を迎え、田中和博副理事長より京都のモデルフォレスト運動の経緯と活動について紹介するとともに、モデルフォレストの国際的なネットワークについての積極的な情報交換を行いました。



インドネシア林業環境省視察団の受け入れ（3月11日）

インドネシア林業環境省視察団を迎え、同国ジョグ・ジャカルタ特別州内で設立準備中のモデルフォレストの取り組みについて、同省のエコ・ハディ・クンチョロ氏よりご紹介いただき、京都のモデルフォレストの状況を含め情報交換を行いました。

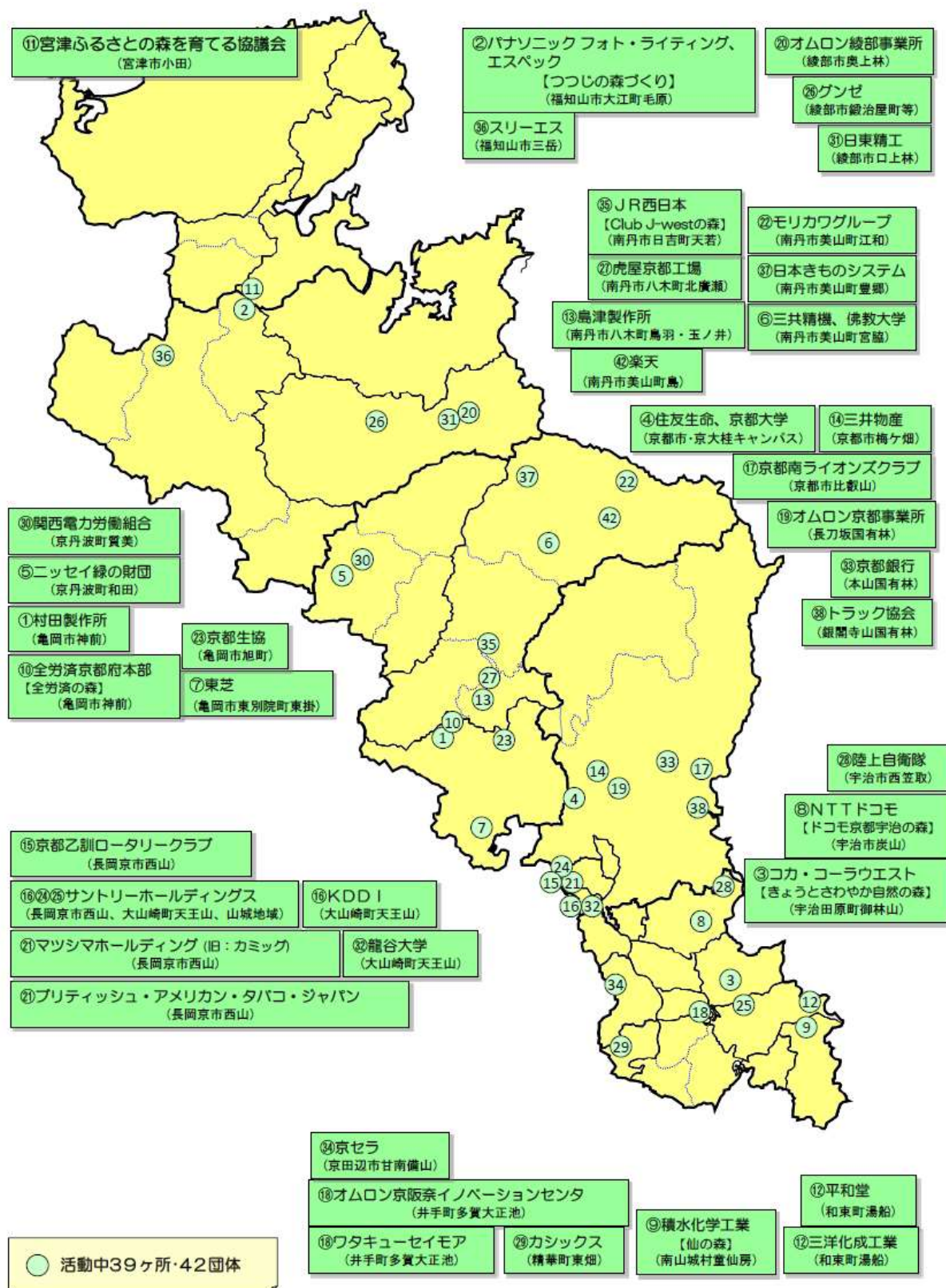




4. 企業・団体等の参加による森林づくり活動の推進

企業等の参加促進

平成 27 年度は一般社団法人京都府トラック協会、楽天株式会社新たに森林づくりに参加され、府内での企業等の参加による森づくり活動は 39 ヶ所、42 団体となりました。





地域住民等と連携した協議会等

9箇所

- 丹後モデルフォレスト地域協議会 ○宮津ふるさとの森を育てる協議会
- 毛原地域森林利用保全活動協議会 ○神前モデルフォレスト推進協議会
- 西山森林整備推進協議会 ○天王山周辺森林整備推進協議会
- 山城モデルフォレスト推進協議会 ○井手町豊かな緑と清流を守る協議会
- 美山産官学公連携協議会（モデルフォレスト推進プロジェクト）

企業・団体等による森林づくり活動の概要

活動の主な目的

活動の主な目的	企業等数	企 業 等 名
環境保全 温暖化防止への貢献	22	東芝、NTTドコモ、積水化学工業、 エスベック、パナソニックフォト・ライティン グ、KDDI、ニッセイ、住友生命、京都大学、 島津製作所、オムロン、BATジャパン、 マツシマホールディングス、モリカワグループ、 京都生協、JR西日本、 宮津ふるさとの森を育てる協議会、カシックス、 関西電力労働組合京都地区本部、京セラ、スリー エス、楽天
社会・地域貢献	16	村田製作所、三共精機、佛教大学、 全労済、平和堂、京都乙訓ロータリー、 ワタキューセイモア、三洋化成工業、グンゼ、 虎屋、陸上自衛隊、日東精工、龍谷大学、 京都銀行、日本きものシステム協同組合
水源林の保全	3	サントリー、コカ・コーラウエスト、 京都南ライオンズ
伝統行事への貢献	1	三井物産

活動の形態

社員等のボランティア活動（27）、資金提供のみ（2）両方（13）

主な活動内容と年間の活動回数

広葉樹の整備（60）、人工林の整備（15）、竹林の整備（8）、木工等（1）
環境学習等（31）

年間活動回数 企業等数

2回程度（28）、5回程度（10）、6回以上（3）



企業等参加の情報交換・交流の支援

企業参加の森林づくりミーティング（7月23日）

昨年度から継続し、亀岡市内において、「企業等参加の森林づくり担当者ミーティング」を開催し、協会会員で森林づくりに取り組まれている11企業14名の方と、京都府関係者等の方々にご参加いただきました。今年から新たな取り組みとして、後半は、株式会社村田製作所の活動地の視察とワークショップ、森林資源の活用事例としての「京パレット」の紹介などを行いました。



森林づくり相談会（2月中随時）

各企業の取り組みの支援の強化ため、各企業において次年度の事業計画を検討される時期にあわせた平成28年2月15日、16日を中心に、森林づくり参画企業の担当者向け相談会を実施。来年度の森林づくりの計画についての相談や他企業の取り組みの事例について、また地元との連携などについてのご相談や森林資源の有効活用についてのお尋ねなどに対応しました。

企業の参画についての呼びかけ・PR

KES エコロジカルネットワークでの紹介（2月3日、23日）

NPO 法人 KES 環境機構等が関係機関と連携して行う、環境マネジメントシステム「KES」登録企業を対象とした「KES エコロジカルネットワーク」の中で、企業参加の森林づくり活動などを取り組み事例として紹介されました。



「地方創生・CSV時代の『企業の森づくり』フォーラム」での情報提供（3月1日）

美しい森林づくり全国推進会議と国土緑化推進機構が東京都渋谷区の国連大学で開催した同フォーラムにおいて、協会の活動について資料提供しました。



企業等からの寄付金による森林づくり事業の実施

企業等からの寄付を原資に、京都府森林利用保全重点区域等の森林整備を推進し、森林の公益的機能確保するため、森林づくり基金活用事業を実施しています。27 年度は、企業参加の森林づくり活動地への寄付により実施した 10 カ所と、次の企業等から府内の森林づくりのためにいただいた寄付を活用し、一般公募により実施した 7 カ所の計 17 カ所で森林づくり事業を行いました。

(平成 28 年 3 月時点)

寄付者	寄付金額 (円)
コカ・コーラウエスト自販機	105,063
Club J-WEST	5,005,600
木材利用ポイント	11,321

寄付金による森林づくり基金活用事業の状況

企業参加の森林づくり事業地

事業実施地域	交付額(円)	事業実施地域	交付額(円)
宇治田原町立川御林山	2,678,400	亀岡市旭町湯谷山	150,000
和東町大字湯船	857,000	亀岡市東別院町東掛	791,256
井手町多賀一ノ谷	475,000	南丹市美山町豊郷	346,000
南丹市八木町北広瀬	237,500	南丹市日吉町天若	1,500,000
南丹市八木町玉ノ井	559,388	京都市右京区梅ヶ畑	330,000
交付金合計			7,924,544

一般公募による森林づくり事業地)

事業実施地域	交付額(円)	事業実施地域	交付額(円)
南山城村野殿・童仙房	1,000,000	南丹市八木町北広瀬	214,000
宇治市炭山・吹越	896,000	南丹市美山町島	204,000
京都市北区雲ヶ畑	214,000	宮津市里波見峠他	675,000
京丹後市弥栄町霰	343,000		
交付金合計			3,546,000

森林整備による二酸化炭素森林吸収量の認証

森林整備による二酸化炭素の吸収量について、その計算・認証を行う機関として京都府から指定を受け、次の認証を行いました。

平成 27 年度実績 (単位 : CO₂- t)

・オムロン株式会社京阪奈イノベーションセンタ	6.97
・三洋化成工業株式会社	30.50
・西山森林整備推進協議会	5.34
・長岡京市	46.64
・KDDI 株式会社	0.35
・京都生活協同組合	0.44
・三洋化成工業株式会社	20.29
計	110.53



5. モデルフォレスト運動についての普及啓発、情報発信

府民への森林に親しむ機会の提供

公益社団法人国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド事業」などを活用し、幅広い年齢層の会員や府民の方々に森林に親しんでいただき、京都モデルフォレスト運動への理解を深めていただくことを目的に、以下の行事を実施しました。

洛西散策の森の管理運営

京都府からの委託を受け洛西散策の森（京都市西京区）の管理を実施。府民に開かれた森林体験の場の提供を行うとともに、洛南ライオンズクラブの地域奉仕活動の支援なども行いました。

子ども夏休み森林教室@大学の森（8月9日）

再掲（詳細 P.4）。

再生可能エネルギーとしての薪を見直そう「薪の駅」 （2月13日）

三井物産株式会社と京都府、当協会が協定を締結している京都市右京区梅ヶ畑の活動地において、森林資源の利用を通じた循環型社会の見直し等による持続可能な社会の形成を目的とし、薪の再生可能エネルギーとしての利用促進に向けたイベントを実施し、薪ストーブユーザーの方や協会会員など計14人の方にご参加いただきました。



情報発信・PR

イベント等でのモデルフォレスト運動のPR

新緑祭 inSTIHL の森（5月3～5日）

STIHL の森（府民の森ひよし）において、府民探鳥会、モノレール体験、木工教室等を開催。ご家族連れをはじめ幅広い年齢層の皆さんに森に親しむ機会を提供しました。

野外コンサート「京都大作戦」（7月4日、5日）

宇治市の京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）で行われた野外音楽フェスティバル「京都大作戦 2015」（FM京都主催）において、当協会会員の森林ボランティア団体「フォレスターうじ」、「森なかま」にご協力いただき、緑の募金活動とあわせモデルフォレスト運動のPRを行いました。

京都環境フェスティバル（12月12日、13日）

京都市伏見区の京都パルスプラザにおいて行われた京都環境フェスティバルに出展。協会活動のパネル展示や、森の素材でのリースやミニツリーづくりのワークショップを実施しました。





紙面、インターネットなどによる情報発信

情報誌「以森伝心」の充実

会員向けに広報紙「以森伝心」を3回発行し、京都の伝統文化と森についての関係や森林の現状について考える特集のほか、第40回全国育樹祭開催に向けての動きの紹介や協会の取り組みについて、ボランティア「チーム以森伝心」の協力のもと、特集や取材記事を充実しました。



ニュースレターの発行（月1回）

会員への迅速な情報提供のため、事業案内や報告など最新状況や、会員団体の森林関連のイベントの案内、また森林づくり団体向けに助成金や関連情報などを発信しました。企業等参画の森林づくり活動の状況や、国際モデルフォレストネットワークの取り組みなども継続して掲載しました。

協会フェイスブック・ホームページによる広報

協会行事等のご案内や、取り組みや活動報告などのほか、会員企業・団体や林野庁の森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用したイベントの広報など、森林づくりに関わる企業・団体等の情報発信の支援を行いました。

英文ニュースの掲載・国際モデルフォレストネットワーク発行のニュースレターでの紹介

翻訳ボランティアの協力により、協会ホームページの英文ページにニュースを掲載、京都の取り組みを国際的に情報発信しました。また、国際モデルフォレストネットワーク（事務局カナダ）が発行するニュースレターで、小規模な森林をベースにしたネットワーク型の京都のモデルフォレストの概況や、企業の社会的責任の一環としての民間企業の参画などが紹介されました。

調査研究の実施・支援

府有林管理委託業務現状調査の受託

京都府森林組合連合会から受託し、京都府府有林管理委託業務現況調査を実施しました。

カナダ調査報告会開催（12月17日）

京都府立大学森林科学科との共同開催により、同大学とラバル大学との協定締結にもとづく調査訪問についての報告と、7月に招へいを受け訪問したプリンスアルバートモデルフォレスト調査の概要と連携について報告を行いました。



サスカチュワン大学環境・持続可能性学部調査研究への協力（1月～3月）

同大学からの依頼を受け京都とカナダのイースタン・オンタリオモデルフォレストとの国際比較調査について調査協力を行いました。また、同京都府立森林科学科と合同で、3月11日中間報告会を開催しました。





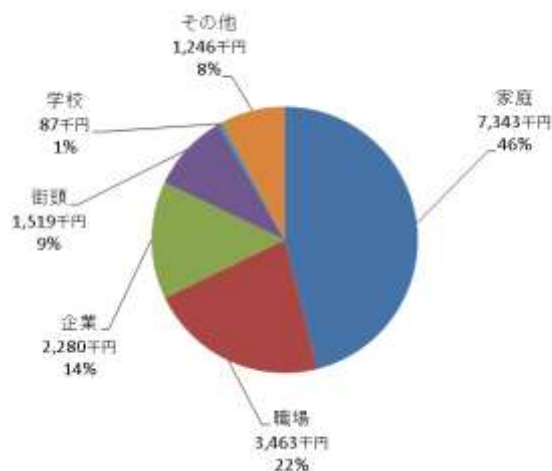
6. 緑の募金の推進

緑の募金活動の実施

平成 27 年度の緑の募金活動は、春募金は 3 月 1 日～5 月 31 日、秋募金は 9 月 1 日～10 月 31 日までを募金強化期間として、協会、京都府、市町村、関係団体並びに企業等との協力・連携のもと、取り組みました。街頭募金が減少したものの、企業募金・職場募金をはじめ各種募金が増加したため、募金実績は 16,149,672 円で、前年比 101.3%となりました。

期	目標額	春期募金実績	秋期募金実績	合計	前年比
H27	18,000,000 円	11,542,412 円	4,607,260 円	16,149,672 円	101.3%
H26	20,000,000 円	11,738,971 円	4,200,385 円	15,939,356 円	97.80%
H25	20,000,000 円	12,449,604 円	3,844,940 円	16,294,544 円	98.70%
H24	20,000,000 円	13,135,538 円	3,379,163 円	16,514,701 円	95.20%
H23	21,000,000 円	9,634,668 円	7,704,566 円	17,339,234 円	98.00%
H22	21,000,000 円	15,021,715 円	2,673,013 円	17,694,728 円	89.70%
H21	20,000,000 円	15,713,844 円	4,016,411 円	19,730,255 円	108.10%
H20	20,000,000 円	14,963,309 円	3,280,168 円	18,243,477 円	107.20%
H19	20,000,000 円	14,350,716 円	2,671,045 円	17,021,761 円	111.40%

緑の募金の方法別内訳



寄付付き商品など企業の CSR 活動の一環としての募金活動

企業 CSR 活動の一環として、商品やサービスの売り上げに応じた寄付など企業の協力により募金キャンペーンを展開いただきました。

- ・日本ハム西販売㈱／『森の薫り』関連商品
- ・京都府ホンダ会／加盟店に緑の募金を呼びかけ集約
- ・㈱ブックレット／本等の買取点数により募金
- ・㈱樽徳商店／「緑の募金付き手作り桶」販売開始（新規）
- ・㈱京都放送／緑の募金付「鹿 de カレー～おうちごはん物語～」





飲料自動販売機による募金活動

飲料会社と自動販売機設置オーナーとで契約後、毎月、売上に応じて緑の募金を寄付いただき、現在、府内 57 社の協力を得て設置されており、平成 27 年の自動販売機による募金額は 1,259,886 円（26 年 1,180,859 円）となっています。

【協力飲料会社】

ダイドードリンコ株式会社、株式会社伊藤園、アサヒカルピスビバレッジ株式会社、関西キリンビバレッジサービス株式会社、ジャパンビバレッジウエスト株式会社、サンフーズオペレーション株式会社、株式会社山久、高倉有光社

緑の募金を活用した各種事業

緑の募金は、学識経験者等で構成する「緑の募金運営協議会」で審議の上、事業実施希望者を公募するなどして、森林整備、緑化推進、緑の少年団活動等の森林環境教育、緑化や森林づくりの普及啓発等に活用しました。

森林愛護運動推進事業

青少年の健康を増進し、社会奉仕や森林愛護の啓発を図るため、ボーイスカウトやガールスカウトが行う森林愛護活動に対し、資材等の購入に必要な経費及び森林整備活動や研修の経費について助成しました。

緑化推進

ア 地域緑化

従来の地域緑化事業を見直し、府内自生種で、自然環境下で減少している樹木の植樹等、府内の各地域の自然環境保全に役立つ緑化活動を進めていくため、専門家等の協力を得て、緑化方法の検討を行いました。

イ 学校緑化

教育環境の整備と緑を愛し育てる心を育むため、府内の小中学校 16 校に対し、植樹木の購入等に要する経費を助成しました。

（助成校一覧・順不同）

京都市立南太秦小学校、京都市立桂東小学校、京都市立伏見住吉小学校、
京都市立向島南小学校、京都市立羽束師小学校、京都市立西陵中学校、
向日市立第 4 向陽小学校、長岡京市立長岡第四中学校、
宇治市立笠取第二小学校、宇治市立東宇治中学校、
城陽市立久世小学校、八幡市立男東山中学校、
亀岡市立つつじヶ丘小学校、南丹市立八木西小学校、
宮津市立府中小学校、京丹後市立大宮中学校



緑化運動・愛鳥週間ポスターコンクール

青少年の緑化思想の高揚を図るため、府内の小・中・高等学校の生徒を対象に緑化運動及び愛鳥週間ポスターの募集を行いました。平成 27 年 9 月 5 日に表彰式を、9 月 6 日から 8 日まで、上位入賞者の作品を愛京都府立植物園（京都市左京区）で展示しました。また、全国応募のポスター原画コンクールに応募しました。

（応募総数）

緑化運動ポスター：参加校 183 校参加者数 7,342 人応募点数 1,341 点

愛鳥週間ポスター：参加校 207 校参加者数 7,219 人応募点数 1,489 点

平成 28 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター
原画コンクール入賞者（全国）

平成 28 年度愛鳥週間用ポスター
原画コンクール（全国）



小学校の部 入選（国土緑化推進機構理事長賞）

古本 マリナ ノア 市原 颯
亀岡市立東別院小学校 3 年 亀岡市立城西小学校 1 年

中学校の部 環境大臣賞

廣瀬 結衣
京都市立北野中学校 3 年

緑の少年団等育成・活動支援

森林や緑の大切さを学習するための緑の少年団の活動支援を行いました。平成 27 年度より新たに活動支援事業として 16 団 755 千円を、各少年団の取り組みに対し助成したほか、緑の少年団連絡会の開催や、緑の少年団指導者研修への参加などを行いました。

啓発活動

緑化運動ポスター、募金募集チラシ、募金リーフレット作成等により緑化思想の普及啓発に努めました。また、京都府教育委員会の子どもと社会を結ぶまなびづくり協議会『結ネットKYOTO』登録団体として、京都府内中学校や幼稚園の生徒や指導者に対し、森林や緑の大切さを学習するための出前授業を行いました。

募金資材

緑の募金活動資材として、緑の羽根・バッジや卓上募金箱等を購入しました。また、府内産材を利用した木製品を資材として活用しました。





地域での緑の募金事業の取り組み支援

交付金の交付

地域の緑の募金支援団体に対し、森林整備、植樹祭、地域緑化、緑の少年団育成を実施し、緑環境の整備や地球温暖化防止に果たす森林の効用等緑化思想の普及啓発や緑化活動を通じて青少年の健全育成を図るための経費として9団体に、また、緑の募金法施行規則第6条に基づき（公社）国土緑化推進機構に交付しました。



平成 27 年度緑の募金交付金一覧

（単位：千円）

交付先	交付額	主 な 取 組
京都・乙訓緑化推進委員会	1,113,000	ボーイスカウト・ガールスカウトの森林整備活動支援、地域緑化、学校緑化、緑化推進啓発活動、募金活動推進等
山城モデルフォレスト推進協議会	1,472,000	森林ボランティア団体活動支援、愛鳥モデル校活動助成、ボーイスカウト・ガールスカウト等への活動助成、森林整備・緑化推進啓発活動ほか
(公財)亀岡市都市緑花協会	1,026,000	苗木・プランター配布、花づくりコンクール、緑の少年団活動資材助成等
南丹・京丹波林業振興会	411,000	地域緑化の推進・緑化樹の苗木配布、募金活動推進等
舞鶴市森づくり推進委員会	1,623,000	森林整備活動、地域緑化、学校緑化、緑の少年団、ボーイスカウト・ガールスカウト育成活動助成、森林整備・緑化啓発活動等
福知山緑化推進委員会	1,157,000	森林ボランティア団体活動支援、自治会等への緑化樹配布、福知山地方植樹祭等
綾部緑化推進委員会	488,000	苗木配布、緑の少年団活動助成、緑化啓発活動等
与謝地方林業振興会	423,000	地域の植樹活動支援、緑化ポスター応募記念品等
丹後地方林業振興会	144,000	記念植樹、地域緑化事業等
中央交付金	984,000	(公社)国土緑化推進機構 5%+500 千円
計 10 団体	8,841,000	

緑の募金支援団体担当者会議の開催（11 月 26 日）

各支援団体の担当者会議を開催。各団体の募金への取り組み状況や、事業の実施状況についての情報を共有。今後の取り組みの充実に向けて意見交換を行いました。